

1 策定の背景と目的

少子化の進行により県内中学生年代の人口は今後10年間で約3割(2.2万人程度)減少する見込みであるなど、多様な活動の実施や学校単位での活動が難しくなっている。

また、部活動の顧問は、担当する競技等の専門性を有していない場合があることから、専門的な指導を受けることができる地域クラブ活動の活用など、地域全体で関係者が連携して、子供たちのスポーツ・文化芸術活動を支えることが必要となっている。

こうした状況を踏まえ、本県における部活動改革の基本的な考え方や取組内容等を示すために本計画を策定する。

2 目指す姿と基本方針

【目指す姿】

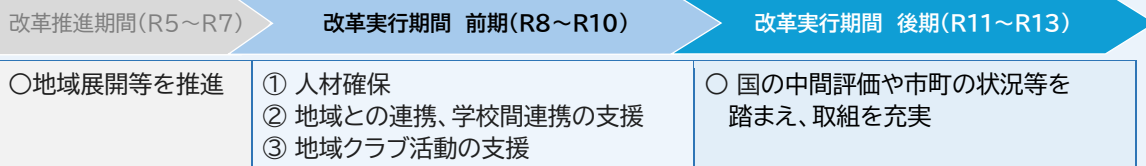
急激な少子化が進む中においても、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用し、生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動を実現する。

【学校部活動の教育的意義】

学校教育の一環として行われる部活動は、異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなどの教育的意義を有している。

【基本方針】

公立中学校等の部活動改革は、自治体の重要な教育施策であり、スポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を継続的に確保・充実するため、休日の部活動の地域展開を目指しつつ、地域の実情等に応じた着実な改革の推進に向けたきめ細かな支援を行う。



3 県の主な取組内容

次の①～③について、県・市町担当者会議、個別ミーティングを定期的に行い、地域の実情等に応じた支援を行う。

① 人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の配置に係る経費の補助 ・指導者リストの作成・提供 ・教職員の兼職兼業、サービス等に関する整理 ・指導者研修会の実施
② 地域との連携、学校間連携の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市町の体制整備(コーディネーター配置)等に係る経費の補助 ・大会等への円滑な参加に向けた関係団体との調整 ・学校と指導者との連携
③ 地域クラブ活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブ活動費等の支援に係る経費の補助 ・寄附金による補助的財源の確保 ・他地域における活動参考事例の共有